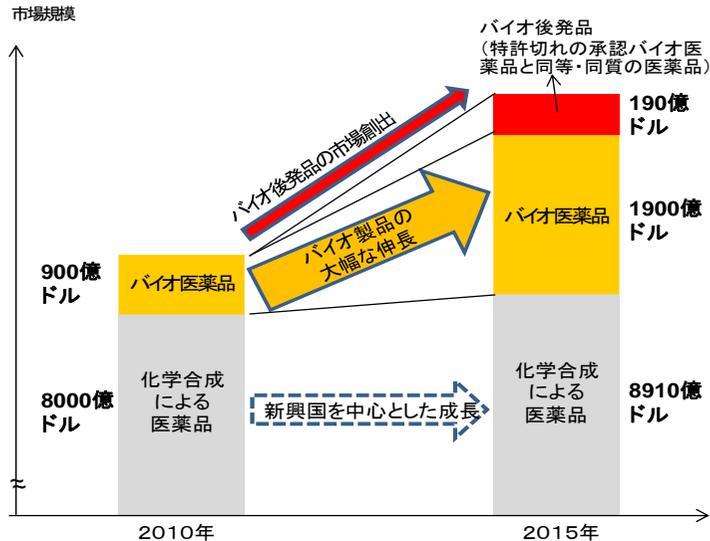


### 3. 医薬品市場の将来展望及び再生医療の意義

- 世界人口の高齢化により医薬品需要は大幅に伸びており、日本の経済成長にとって極めて重要な分野。今後は、遺伝子組換え技術等を用いた**バイオ医薬品が大幅に伸長**する見込み。
- 再生医療は、現在**治療不可能とされる疾患の根本治療**に路を開き、患者及び介護も含めた生活の改善に加え、慢性疾患や高齢化に伴う疾患等の完治により、**拡大の一途をたどる社会保障費の抑制にも貢献**する可能性。

#### 【世界の医薬品市場の推移(2010-2015年)】



#### 【医薬品売上上位10製品】 ※網掛けがバイオ医薬

製品名	薬効等	売上規模(百万ドル)		伸び率
		2009	2010	
リビトール	高脂血症治療薬	12,679	12,023	-5.2%
ブラビックス	抗血小板薬	9,905	9,426	-4.8%
レミケード	リウマチ治療薬	7,143	8,065	12.9%
アドセア/セレタイド	抗がん剤	8,012	8,029	0.2%
リツキサナ	抗がん剤	6,959	7,833	12.6%
エンブレル	関節リウマチ	6,216	7,279	17.1%
ディオバン/ニシス	降圧剤	6,801	7,074	4.0%
アバステン	抗がん剤	5,994	6,867	14.6%
クレトール	高脂血症治療薬	5,306	6,834	28.8%
ヒュミラ	リウマチ治療薬	5,584	6,752	20.9%

#### 【再生医療に期待される効果】

##### 手術・投薬などの従来法では治療困難な疾患

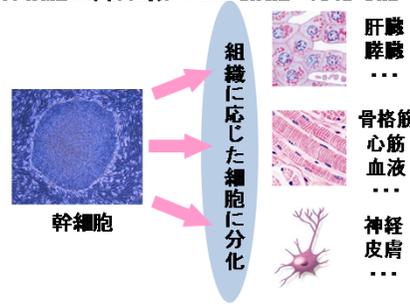
- 脊髄損傷
- 肝硬変
- 心筋症 等

軽度な症状も含め、  
国内対象疾患総数は約276万人(※)  
(※)厚生労働省「平成20年患者調査」

【参考】  
国内の臓器移植希望者数  
13,346人 (2012年1月末現在)  
移植件数  
329人/年 (2011年実績)  
出所) (社) 日本臓器移植ネットワーク HP



##### 幹細胞は、各組織に応じた細胞に分化可能



#### 将来、研究が進むにつれ、再生医療により多様な治療が可能に

##### <脊髄損傷治療の例>



骨髄損傷による障害等は、現在治療不可能

幹細胞で損傷した中枢神経を再生

身体機能の回復

##### <メリット>

- ① 根本治療や他に治療法のない疾患の治療が可能になり、患者の生活の質が向上
- ② 家族など介護する側の負担・費用軽減に寄与
- ③ 上記①、②を含めれば、医療経済的に大きな効果が見込める

☆ 糖尿病や腎臓疾患などにより膨大な数の患者が存在し、かつ、生涯に亘って治療が必要となっている状況を改善することができれば、社会的メリットは極めて大きい。